

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議が活かされていない。利用者様の状況報告になっている。家族の参加があるが固定され1から2名程度。地域の委員さんの参加がないわけではないが積極的にもう少しかかわりがほしい。	推進会議のメンバーが固定化されず、ご家族全員が年数回参加。地元の委員さんの参加が多い。推進会議以外でも来訪してもらいたい。	ご家族様へ推進会議参加の周知徹底を図る。家族会を行い同時に推進会議を開催する。定期的な地域交流会の時に推進会議を開催する。参加委員を検討する。地元の職員を推進会議構成委員にして参加を依頼する。地元のいろいろな方が来訪してもらえるような行事の開催。	6ヶ月
2	10	月に一度のカンファレンスで職員からの意見等を聞いている。家族面会時にカンファレンスをしたり、聞き取りや説明したりしているが家族の思いや家族の理解度などをしっかり知る機会になっていない。職員がケアプランをよく理解していない。	家族参加のカンファレンスの機会を多くする。職員のケアプランに対する理解度と実行度をアップさせる。	ご家族様への連絡を行い参加の必要性を伝える。ケアプランの研修会を行ったり外部研修に参加させる。	6ヶ月
3	30～34	利用者の異常の早期発見に努め早期対応ができるように努力しているが、まだまだ職員の質の向上が必要である。	観察力を付ける。異常を発見できる。過度な不安を持たない。適切な対応ができる。適切に報告(伝達)することができる。	日常的なケアへの指導をする。指導担当者の配置。研修の機会を持つ。研修レポートの提出と他職員への伝達。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。